

令和6年度

第4学年 編入学生募集要項

編入学案内

(出願書類添付)



願書受付期間 令和5年8月1日(火)～8月2日(水)

学力検査及び面接 令和5年9月1日(金)

合格者発表 令和5年9月8日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

茨城工業高等専門学校

〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866

電話 (029) 271-2828 (学生課入試係)

FAX (029) 271-2840 (学生課)

URL <https://www.ibaraki-ct.ac.jp/>

Eメール nyuushi@ibaraki-ct.ac.jp

目 次

令和6年度 編入学生募集要項

1	募集人員及び編入学年	1
2	出願資格	1
3	志望主専攻（系）	1
4	アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	1
5	出願手続	2
6	出願上の注意	3
7	選抜方法	3
8	合格者の発表	5
9	入学確約書の提出	5
10	編入学者説明会	5
11	個人情報の取り扱いについて	6
12	情報開示請求	6

編入学のための学校案内

1	茨城工業高等専門学校	7
2	国際創造工学科	7
3	主専攻（系）	8
4	副専攻	9
5	本校の編入学生受け入れ制度	9
6	編入学後の教育	9
7	編入学時に要する経費	10
8	高等教育の修学支援新制度	10
9	奨学金制度	10
10	入学料，授業料免除制度	10
11	学校災害共済給付制度	10
12	その他	10

教育課程表	11
-------	----

注）編入学願書等出願書類は、教育課程表のあとに添付してあります。

令和6年度 第4学年編入学生募集要項

1 募集人員及び編入学年

学 科 〔主専攻（系）〕	募 集 人 員	編 入 学 年
国 際 創 造 工 学 科 〔 機 械 ・ 制 御 系 電 気 ・ 電 子 系 情 報 系 化 学 ・ 生 物 ・ 環 境 系 〕	各主専攻（系） 若干名	第 4 学 年

2 出願資格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 大学入学資格検定に合格した者，高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は令和6年3月までに高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者

3 志望主専攻（系）

本校のいずれの主専攻（系）でも志望することができます。

4 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

(1) 求める入学志願者像

本校は「自律と創造」を教育理念として掲げ、豊かで持続可能な社会を実現するために、自律的にこれらの課題に取り組んでこれらを解決すると共に、新しい知識を生み出すことのできる創造性あふれる技術者を育成します。このため、高等学校からの編入学生に対しては、次のような人を求めています。

- ・英語，数学，理科あるいは工業などについての基礎知識を修得している人
- ・専門分野についての学力や技術を身につけたい人
- ・教養を深め，国際性豊かなコミュニケーション能力を身につけたい人
- ・専門知識や技術を生かし，社会に役立ちたいと考えている人
- ・自らの将来に向けて努力し，行動できる人

(2) 入学者選抜基準

編入学生の選抜は，学力検査（数学100点，英語100点，主専攻別科目150点の合計350点と面接50点）の得点が著しく低い検査項目（原則として40%未満の得点）がなく，かつ検査の総合点が60%以上の得点である者の中から調査書を含めて総合判定して行います。

5 出願手続

- (1) 受付期間 令和5年8月1日(火)から8月2日(水)まで
(郵送による場合も受付期間内に必着としますが、これ以降に到着したものは令和5年8月2日(水)までの消印のあるものに限り受理します。)
- (2) 受付時間 9時から16時まで
- (3) 受付場所 茨城工業高等専門学校 学生課 入試係
〒312-8508 ひたちなか市中根866
TEL (029) 271-2828
FAX (029) 271-2840
- (4) 出願書類等 出願者は、次の出願書類等を、出願資格(1)の者は在籍(出身)学校長を経て、本校学生課入試係に提出してください。また、出願資格(2)の者は、直接、本校学生課入試係に提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
編 入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真票には、令和5年6月以降に撮影した正面上半身脱帽の写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付してください。
調 査 書	出願資格(1)の者は、在籍(出身)学校所定の用紙により学校長が作成した調査書を厳封したものを提出してください。 出願資格(2)のうち合格者は、大学入学資格検定又は高等学校卒業程度認定試験の「合格成績証明書」を提出してください。
卒 業 見 込 証 明 書 又 は 卒 業 証 明 書	出願資格(1)の者は、在籍(出身)学校所定の用紙により学校長が作成したものを提出してください。ただし、調査書に卒業見込証明欄又は卒業証明欄がある場合には提出不要です。 出願資格(2)のうち合格者は、大学入学資格検定又は高等学校卒業程度認定試験の「合格証明書」を提出してください。
外 部 検 定 に よ る 学 力 検 査 の 一 部 免 除 申 請 書	外部検定による評価を利用し、試験科目「英語」を免除申請する場合は、本校所定の用紙に必要事項を記入し、評価を証明する書類(実用英語検定は「合格証明書」、GTEC4技能は「オフィシャルスコア証明書」または「スコアレポート」、GTEC3技能は「スコアレポート」)の原本及び写しを一部添付して提出してください。 (ただし、学力抜試験日の前々年度の4月1日以降に取得した評価とします。) ※原本がないものは認めません。原本は確認後返却します。
入 学 検 定 料	16,500円。本校所定の「振込依頼書」を用い、金融機関(ゆうちょ銀行では口座からの振込みはできますが、現金による振込みはできません。)の窓口で振り込んでください。なお、ATMは使用できません。振込後、「振込受付証明書」を「編入学願書」の裏面の所定の位置に貼付してください。
あ て 名 シ ー ル	合格、その他の通知に使用しますので、志願者の住所、氏名及び郵便番号を正確に記入してください。郵便切手を添付する必要はありません。

返信用封筒	<p>郵送で出願した場合の受験票等を送付するために使用します。郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号（120mm×235mm）の封筒に必ず84円分の郵便切手を貼付してください。なお、英語の外部検定による評価を証明する書類を郵送する場合は、角形2号（240mm×334mm）の封筒に120円分の郵便切手を貼付してください。</p> <p>※出願書類を持参する場合は不要です。</p>
-------	---

6 出願上の注意

- (1) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）をよく理解した上で、出願してください。
- (2) 黒インク又はボールペン（消せる筆記具は不可）で記入してください。記入事項を訂正する場合は、訂正箇所にも二重線を引き、その上に訂正印（認印）を押してください。
- (3) 出願書類等を郵送する場合は、必ず**書留速達郵便**とし、封筒の表に「**編入学願書在中**」と**朱書**してください。
- (4) 出願書類等の不備なものは受け付けません。また、出願書類等提出後の記載事項の変更は認めません。
- (5) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 受理した出願書類等及び入学検定料は返還しません。ただし、最終ページに記載されている入学検定料返還要件のいずれかに該当した場合は、納入済の入学検定料を返還します。
- (7) 郵送で出願の手続きをした者については、受験票等を送付します。なお、受験票等が令和5年8月15日（火）までに届かないときは、本校学生課入試係に電話をしてください。
- (8) 障がい等を有する者で、受験に際し特別な措置を必要とする者及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、令和5年7月14日（金）までに相談する内容を文書等で本校学生課入試係に申し出てください。

7 選抜方法

編入学生の選抜は、学力検査（数学100点、英語100点、主専攻別科目150点の合計350点と面接50点）の得点が著しく低い検査項目（原則として40%未満の得点）がなく、かつ検査の総合点が60%以上の得点である者の中から調査書を含めて総合判定して行います。

- (1) 学力検査・面接の日時及び場所
 - ① 検査日：令和5年9月1日（金）
 - ② 時間及び場所

期 日	区 分		時 間	場 所
9月1日 (金)	学力検査	英 語	9:00～10:00	茨城工業高等専門学校
		主専攻別科目	10:25～11:55	
		数 学	12:55～13:55	
	面 接		14:15～	

(2) 学力検査科目

学力検査科目は、共通科目（英語，数学）と，主専攻別科目があります。共通科目と主専攻別科目の詳細は次頁の「共通科目，主専攻別科目の出題科目名及び範囲」のとおりです。

なお，出題科目の範囲は，令和5年度の高等学校第3学年に適用される学習指導要領に基づきます。

共通科目，主専攻別科目の出題科目名及び範囲

志望主専攻	区分	科目名	範囲	備考
機械・制御系	共通科目	英語	コミュニケーション英語Ⅰ， コミュニケーション英語Ⅱの全範囲	
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅱの全範囲	
	主専攻別科目	物理	物理基礎の全範囲	
電気・電子系	共通科目	英語	コミュニケーション英語Ⅰ， コミュニケーション英語Ⅱの全範囲	
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅱの全範囲	
	主専攻別科目	物理	物理基礎の全範囲	
情報系	共通科目	英語	コミュニケーション英語Ⅰ， コミュニケーション英語Ⅱの全範囲	
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅱの全範囲	
	主専攻別科目	情報	フローチャート，アルゴリズム，2進数・10進数・16進数，論理演算，ネットワーク，コンピュータの構成	
化学・生物 ・環境系	共通科目	英語	コミュニケーション英語Ⅰ， コミュニケーション英語Ⅱの全範囲	
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅱの全範囲	
	主専攻別科目	化学	原子・分子・イオン及び化学結合，気体の性質，化学反応と物質質量・エネルギー，酸・塩基反応，酸化・還元反応，基本的な無機化合物，基本的な有機化合物	電卓を貸与

※ 受験上の注意

- ① 9月1日（金）は，8時30分（外部検定による学力検査「英語」免除者は，9時30分）までに本校の指定する場所に集合し，係員の指示に従ってください。集合場所は，願書受付時にお知らせします。
- ② 受験票，鉛筆又はシャープペンシル，消しゴム及び鉛筆削りを持参してください。
- ③ 携帯電話（スマートフォン等），ウェアラブル端末（スマートウォッチ等），その他の用具（コンパス・定規・下敷き等）は，検査室に持ち込めません。
- ④ 昼食を持参してください。

(3) 試験科目の一部免除申請

外部検定による評価を利用する者は、試験科目「英語」を免除申請することができます。ただし、学力選抜試験日を基準に、前々年度の4月1日以降に取得した評価とします。

外部検定による評価の換算方法は、次のとおりです。

外部検定			換算点
実用英語技能検定	GTEC 4技能 (検定版・アセスメント版)	GTEC 3技能 (アセスメント版)	
1級	1350 以上	1010 以上	100 点
準1級	1190 - 1349	870 - 1009	90 点
2級	960 - 1189	680 - 869	80 点
準2級	690 - 959	500 - 679	70 点

実用英語技能検定：(公) 日本英語検定協会実施

GTECテスト：(株) ベネッセコーポレーション実施

8 合格者の発表

令和5年9月8日(金)13時、本校において発表するとともに、合格者には文書で通知します。また、2 出願資格(1)の者については、在籍(出身)学校長に合否結果を通知します。(ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。電話による問い合わせには応じません。)

9 入学確約書の提出

「合格通知」を受けた者は、令和5年11月24日(金)16時(郵送の場合を含む。)までに「入学確約書」を提出してください。この期限までに入学確約書を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

10 編入学者説明会

令和5年12月5日(火)15時30分から本校で編入学者説明会を実施しますので、入学確約書提出者は来校してください。

また、令和6年3月4日(月)に入学手続説明会を実施します。日程の詳細は後日連絡します。

11 個人情報の取り扱いについて

出願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料及び次の目的にのみ利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料，授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

12 情報開示請求

入学試験個人成績の開示請求手続きについては、本校総務課にお問い合わせください。

電話 (029) 271-2951

編入学のための学校案内

1 茨城工業高等専門学校の目的

本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、有為の人材を育成することを目的とする。また、前述の目的を実現するための教育を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

教育理念

科学技術の進歩は我々に豊かな社会を提供する一方、社会との関わりをますます深化・多様化させる中で、これまで我々が経験したことのないような新たな課題をもたらしている。本校は「**自律と創造**」を教育理念として掲げ、豊かで持続可能な社会を実現するために、自律的にこれらの課題に取り組んでこれらを解決すると共に、新しい知識を生み出すことのできる創造性あふれる技術者を育成する。

2 国際創造工学科について

平成 29 年度に、これまでの 5 学科（機械システム工学科、電子制御工学科、電気電子システム工学科、電子情報工学科、物質工学科）を国際創造工学科の 1 学科へ統合しました。グローバル化への対応に力を入れた教育を行うと共に、複数の分野を幅広く学ぶことで世界で活躍できるグローバル・エンジニアを育成します。

1 年生は、共通カリキュラムのもと、機械・制御工学、電気・電子工学、情報工学、化学・生物・環境の専門分野に関する授業を受けてから、第 2 学年進級時に、自分が学びたい専門分野として 4 つの主専攻（機械・制御系、電気・電子系、情報系、化学・生物・環境系）の中から 1 つを選択し、学年が進行するにつれて深い専門知識と高度な技術を学びます。

さらに、主専攻とは異なる分野を副専攻として 1 つ選択し、その分野の基本的な知識を学びます。

グローバル化に力を入れた教育では、語学力だけでなく、他国の文化や価値観等を学び、地球規模の課題を考えることができる能力や他国の人々と一緒に課題解決に取り組むことのできるコミュニケーション能力等を身につけます。副専攻には、この教育にさらに力を入れたグローバル副専攻も設けています。

国際創造工学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

国際創造工学科は、社会人として必要な教養、技術者として必要な工学の専門知識を身に付け、国際社会で幅広い課題に意欲的に取り組むことの出来る、創造性豊かな、たくましい人材を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

卒業までに修得する能力（学習・教育目標）

- (A) 工学の理念に基づいて、専門工学の基礎知識を修得できる能力
- (B) 専門工学と人文・社会科学の知識・技術を総合的に活用し、自らが立てた課題を解決できる能力
- (C) 国際的な視野に立って他者と協働しながら社会的課題に取り組むことのできる、姿勢と行動力およびコミュニケーション能力

3 主専攻（系）の紹介

○ 機械・制御系

現代の技術者には、情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）といった最新の技術を生かせる提案や創出が求められています。これまでの機械はおもに動力を利用して一定の運動を起こし、有用な仕事をする装置でした。しかし、これから技術者に求められるのは、エレクトロニクスやコンピュータなどによる先進的な制御技術を用いて高度に智能化・システム化された革新的な機械を作り出す能力です。

本系では、これまで機械システム工学科と電子制御工学科でそれぞれ別々に行われていた教育課程を整理・統合して、社会のニーズに対応する機械系、制御系の発展的な科目群に再構成しました。さらに、共通科目や副専攻体制をとることで、次世代の智能機械や機械システムの開発や生産に係わる幅広い分野を担うことができる人材育成を目指していきます。

また他方で、世界の生産拠点となりつつあるアジア諸国に高い技術力と柔軟な発想で国際社会に貢献できる人材を送り出すことも求められています。本校はこれまでも近隣に位置する大手電機メーカーをはじめとして、関連会社に多くの人材を送り、地域社会に貢献してきた実績があります。今後も国内外を問わず、確かな知識と技術を身に付け、高付加価値のある製品づくりを担う技術者を輩出できるように教育内容をさらに工夫していきます。

○ 電気・電子系

電気・電子系の技術者は、電力会社や電機メーカーだけでなく自動車、医療、鉄鋼、さらには化学、薬品関連など、社会のあらゆる分野で必要とされています。

たとえば、自動車、先端医療機器などの分野においても、従来は電気・電子系の対象でなかった製品にも最新の電気・電子・情報・通信技術が搭載され、多彩な機能を有するようになりました。また様々な製品を生み出す工場の生産ラインにおいても、電気・電子技術を用いて高度に制御されています。一方、産業分野はもちろん一般家庭においても、太陽光発電、風力発電など再生可能エネルギーと言われるクリーンなエネルギーの供給がますます増えており、これらを支えるため電気・電子技術は重要な役割を果たしています。

このように、多方面で急速に発展し続けている電気・電子技術を効率よく修得できるよう、電気・電子、電子制御、情報、通信の4つの分野科目を1つの系に統合しました。本系では、2学年で電気電子工学の基礎科目を、3学年時は電子回路、電磁気学、電子工学、コンピュータとデジタル回路の基本となる専門科目を、4学年以降はネットワークのハードウェア、電子制御、無線通信、パワーエレクトロニクスや再生可能エネルギーなどに関する専門性の高い科目を学びます。低学年からアクティブ学習法を導入し、少人数によるゼミナール授業、実習、工学実験を通して、クラスメイトと協力し合い自ら学び力を修得するように授業内容が構成されています。急速に進化している現社会の要請に応えられる高いコミュニケーション能力を有し、創造性豊富な専門知識を兼ね備えた人材を育成します。

○ 情報系

今日、コンピュータやインターネットは私たちの生活に欠かせない存在です。特に、SNSやインターネットショッピングなどは、多くの人にとって日常生活を送る上での身近なツールといえます。また、近年、日常生活で使用する身近なものをインターネットに接続するIoT技術を利用したサービスや、これらのサービスの普及によりインターネット上に分散さ

れた大量のデータ（ビッグデータ）を活用する技術などが注目を浴びています。このようなインターネットを利用した様々な新サービスを作り出す人材が今後更に求められます。

情報系では、このような社会のニーズに応える人材を育てるために、情報技術分野の全般について授業や実験を通して基礎から応用までを学びます。全ての学年でコンピュータを使った授業があるのが情報系の特色のひとつです。低学年では「離散数学」「情報理論」「コンピュータアーキテクチャ」などの授業を通して基礎知識を身につけます。高学年では「ネットワーク」「コンピュータグラフィックス」「データベース」「情報セキュリティ」などのより専門性の高い科目を学び、情報技術分野についての専門知識と技術力の強化を図ります。実験や卒業研究では少人数教育を重視し、講義で学んだ理論や知識の定着を図り、「考える力」「創造力」「表現力」「コミュニケーション力」をもった実践的技術者、情報技術分野で社会に貢献できる人材を育成します。

○ 化学・生物・環境系

現在私たちは、環境破壊、エネルギー、地球温暖化、人口増加等の問題を抱えており、その解決のために新しい機能性材料の開発や地球にやさしい化学技術、持続可能な発展のための新技術の創造が不可欠となっています。本系は、このような時代の要請に応えるために、応用化学分野に生物科学や環境科学を加えた系であり、複合した領域の学修成果を基にした柔軟な思考力と創造性に満ちた、しかも人間性豊かな科学技術者を育成することを目指しています。

本系では、少人数ゼミナールや基礎科目に力を入れ、主専攻専門科目に無理なく結び付けられるように授業科目が構成されています。また、第4学年以降の教育内容は、化学系基幹科目を学習した上で、応用化学、材料工学、生物資源工学、環境保全工学などの自分に合った進路に対応できるような分野の勉強を積み上げていくことができるようになっています。

さらに、実験実習や卒業研究を通して研究者・技術者として研究能力を高め、新しい技術や製品開発に応用発展ができるような次世代産業で活躍できる人材を育成します。

4 副専攻の紹介

機械・制御系、電気・電子系、情報系、化学・生物・環境系では、その分野の基本的な内容を幅広く学びます。グローバル系では基礎を英語で学べる科目を設置するとともに、国内外の大学に在籍する外国籍学生と一緒に課題解決に向けた方策を討議するなどの体験学習なども行います。なお、副専攻の配属は入試成績をもとに、編入学者説明会後に決定します。

5 本校の編入学生受け入れ制度

第4学年への編入学は、高等学校及び中等教育学校卒業生、大学入学資格検定及び高等学校卒業程度認定試験に合格した者に門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

6 編入学後の教育

(1) 修業年数

本校の修業年数は5年間ですが、第4学年編入学生は第4学年から学習しますので2年間です。

(2) 教育課程

本校の教育課程は、別表のとおりです。第4学年編入学生は、第3学年までの単位を既に修得したものと認定され、第4学年以降の科目を履修します。

7 編入学時に要する経費

入学料 84,600円
授業料 年額 234,600円の前期分 117,300円

なお、このほかに後援会費、学生会費、研修旅行費、教科書及び教材等の経費を必要とします。

※ 上記納入金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

8 高等教育の修学支援新制度

この制度は、世帯収入や資産の要件を満たしており、学ぶ意欲のある学生に対し、授業料・入学金の免除または減額（授業料等減免）及び給付型奨学金の支給の2つの支援を行うものです。

詳しくは文部科学省ホームページ（高等教育の修学支援新制度）をご確認ください。募集は通常4月にあります。

また、高等学校等で予約採用を申請し、採用が決まった方は、入学手続き説明会の折などに本校学生課学生支援係にお知らせください。

9 奨学金制度

日本学生支援機構が実施する貸与奨学金の他、各自治体、財団等が行う奨学金があります。本校ホームページ（https://www.ibaraki-ct.ac.jp/?page_id=509）に奨学金に関する案内を掲載しております。

10 入学料、授業料免除

入学前1年以内において、本校に入学する者の学資を主として負担している者が死亡、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他学校長が相当と認める事由がある場合、入学料免除制度、授業料免除制度それぞれに申請を行うことができます。募集は4月上旬及び9月に本校ホームページ等でお知らせします。

※ 入学料、授業料とも、納入期日までに納付が困難なときに納期を遅らせる徴収猶予制度もあります。

11 学校災害共済給付制度（日本スポーツ振興センター）

この制度は、学校の安全の普及・充実に努めるとともに、授業中、課外活動、登下校時など学校の管理下における学生の負傷、疾病、障害又は死亡に関して必要な給付を行うものです。本校では、学生全員が加入しています。

12 その他

本校には3年生までを基本とした学生寮があります。編入学生は通学が困難であれば入寮できる場合がありますので、入寮を希望する場合は本校学生課寮務係に問い合わせください。なお、本校の周辺にはたくさんのアパートがあり、市内の業者から案内パンフレット等も送付されていますので、必要な場合は学生課窓口にお問い合わせください。

その他の情報については、本校ホームページ（<https://www.ibaraki-ct.ac.jp/>）に最新の情報を掲載していますので、そちらをご覧ください。

別表第1
一般科目

平成31年度以降入学生に係る教育課程

区分	授業科目	単位数	学年別配当単位数					学修単位	備考
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	国語	1	3						※1
	日本語	1	3						※1
	国語	2		2					※1
	国語	2			2				※1
	国語	2				2			※1
	国語	2					2		※1
	国語	2						2	※1
	国語	2						2	※1
	国語	2						2	※1
	国語	2						2	※1
選択科目	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
	現代社会	1							※1
副専攻科目	Global Awareness	1							※1
	基礎数学 I	4							※1
	基礎数学 II	3							※1
	代数学	7							※1
	物理学	4							※1
	化学	4							※1
	Global Life Science	1							※1
	日本事情 III	1							※1
	体育実技 I	6							※1
	英語 I	4							※1
英語 II	4							※1	
英語 III	3							※1	
英語 IV	3							※1	
英語 V	3							※1	
英語 VI	3							※1	
英語 VII	3							※1	
英語 VIII	3							※1	
英語 IX	3							※1	
英語 X	3							※1	
英語 XI	3							※1	
英語 XII	3							※1	
英語 XIII	3							※1	
英語 XIV	3							※1	
英語 XV	3							※1	
英語 XVI	3							※1	
英語 XVII	3							※1	
英語 XVIII	3							※1	
英語 XIX	3							※1	
英語 XX	3							※1	
英語 XXI	3							※1	
英語 XXII	3							※1	
英語 XXIII	3							※1	
英語 XXIV	3							※1	
英語 XXV	3							※1	
英語 XXVI	3							※1	
英語 XXVII	3							※1	
英語 XXVIII	3							※1	
英語 XXIX	3							※1	
英語 XXX	3							※1	
英語 XXXI	3							※1	
英語 XXXII	3							※1	
英語 XXXIII	3							※1	
英語 XXXIV	3							※1	
英語 XXXV	3							※1	
英語 XXXVI	3							※1	
英語 XXXVII	3							※1	
英語 XXXVIII	3							※1	
英語 XXXIX	3							※1	
英語 XL	3							※1	
英語 XLI	3							※1	
英語 XLII	3							※1	
英語 XLIII	3							※1	
英語 XLIV	3							※1	
英語 XLV	3							※1	
英語 XLVI	3							※1	
英語 XLVII	3							※1	
英語 XLVIII	3							※1	
英語 XLIX	3							※1	
英語 L	3							※1	
英語 LI	3							※1	
英語 LII	3							※1	
英語 LIII	3							※1	
英語 LIV	3							※1	
英語 LV	3							※1	
英語 LVI	3							※1	
英語 LVII	3							※1	
英語 LVIII	3							※1	
英語 LVIX	3							※1	
英語 LX	3							※1	
英語 LXI	3							※1	
英語 LXII	3							※1	
英語 LXIII	3							※1	
英語 LXIV	3							※1	
英語 LXV	3							※1	
英語 LXVI	3							※1	
英語 LXVII	3							※1	
英語 LXVIII	3							※1	
英語 LXIX	3							※1	
英語 LXX	3							※1	
英語 LXXI	3							※1	
英語 LXXII	3							※1	
英語 LXXIII	3							※1	
英語 LXXIV	3							※1	
英語 LXXV	3							※1	
英語 LXXVI	3							※1	
英語 LXXVII	3							※1	
英語 LXXVIII	3							※1	
英語 LXXIX	3							※1	
英語 LXXX	3							※1	
英語 LXXXI	3							※1	
英語 LXXXII	3							※1	
英語 LXXXIII	3							※1	
英語 LXXXIV	3							※1	
英語 LXXXV	3							※1	
英語 LXXXVI	3							※1	
英語 LXXXVII	3							※1	
英語 LXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXIX	3							※1	
英語 LXXXX	3							※1	
英語 LXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXX	3							※1	
英語 LXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXX	3							※1	
英語 LXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIV	3							※1	
英語 LXXXXXXXV	3							※1	
英語 LXXXXXXXVI	3							※1	
英語 LXXXXXXXVII	3							※1	
英語 LXXXXXXXVIII	3							※1	
英語 LXXXXXXXIX	3							※1	
英語 LXXXXXXXI	3							※1	
英語 LXXXXXXXII	3							※1	

電気・電子系科目 平成29年度以降入学生に係る教育課程

区分	授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	学修単位	備考
必修	国際創造工学基礎	2	2						4系共通科目
	情報リテラシー	1	1						4系共通科目
	応用物理Ⅰ	2		2					
	電気基礎	3		2	1				*
	電気回路	6		2	2	1			*
	デジタル回路	2		2					
	電気電子計測	1		1					*
	電磁気学Ⅰ	2		2					*
	電子回路Ⅰ	1		1					*
	情報処理Ⅰ	2		2					*
選択	電気電子システム工学実働	12		2	4	4	2		*
	課題研究	9				1	9		
	卒業設計	45	3	10	15	6	11		
	修得単位数	45	3	10	15	6	11		
	応用数学Ⅰ	2				2			4年で必ず修得すること
	応用数学Ⅱ	2				2			II
	応用物理Ⅱ	2				2			I
	制御工学	2				2			II *
	電気電子材料	3				2			I *
	エネルギー変換工学	2				2			II *
選択	電力システム工学	2				2			II *
	電磁気学Ⅱ	1				1			I
	伝送回路	2				2			II
	電子回路Ⅱ	2				2			I
	情報処理Ⅱ	1				1			*
	電子計測システムⅠ	1				1			*
	制御システム工学	2				2			II
	パワーエレクトロニクスⅠ	1				1			II *
	高圧工学	1				1			II *
	電気応用工学Ⅰ	1				1			II *
開	自動設計製図	2				2			*
	電磁波工学	2				2			II ☆
	無線通信工学	2				2			II ☆
	電波法規	1				1			II *
	電気電子工学英語演習Ⅰ	1				1			II ☆
	特別他大学等での履修科目					4以内			II 単位の認定は別に定める
	開設単位数合計	39				17	22		
	修得可能単位数合計	39				17	22		
	開設単位数合計	84	3	10	15	16	33		
	一般科目	84	29	20	15	16	6		75単位以上修得 4年で60単位以上修得 4・5年で71単位以上修得
修得可能	副専攻科目	12		2	2	4	4		82単位以上修得
	共通科目	2				2			
	専攻科目	84				23	33		
	共通科目	32	3	10	15	23	56		
	専攻科目	182	32	32	32	45	45		167単位以上修得 (特別選修を含めて70単位以上修得 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得)
	合計	96				86			

※ 特別学修は単位数に含めていない。
 修得可能単位数の上段は、その学年において修得可能な単位数、下段は、その枠内で修得可能な単位数を示す。
 学修単位は、1単位=授業30時間+自学自習15時間
 学修単位Ⅱは、1単位=授業15時間+自学自習30時間
 *印は、卒業後、所定の実務を経て、経済産業大臣に対する第2種又は第3種電気主任技術者免状の交付申請を行うために開設している科目を示す。
 ☆印の授業を履修すれば、申請のみで、第二級陸上特殊無線技士などの資格をとることができる。

機械・制御系 平成29年度以降入学生に係る教育課程

区分	授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	学修単位	備考
必修	国際創造工学基礎	2	2						4系共通科目
	情報リテラシー	1	1						4系共通科目
	機械設計製図基礎	4		2					
	工業力学	2		2					
	電気回路	2		1	1				
	基礎材料力学	2		1	1				
	電子回路Ⅰ	1		1					
	情報処理Ⅰ	1		1					
	機械・制御工学基礎Ⅰ	13		3	3	3	4		
	卒業設計	45	3	10	15	4	13		
選択	応用数学Ⅰ	2				2			卒業時までに修得すること
	応用数学Ⅱ	2				2			II
	応用物理Ⅰ	2				2			II
	応用物理Ⅱ	2				2			II
	材料力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	材料力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	材料力学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	材料力学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	材料力学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	材料力学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅠ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅡ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅢ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅣ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅤ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅥ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅦ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅧ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅨ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅩ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅲ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅳ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅴ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅵ	1				1			卒業時までに修得すること
開	CAD・CAM・CAEⅪ	1				1			※制御電気・電子系
	制御電子回路	2				2			※制御電気・電子系
	制御体力学Ⅰ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御体力学Ⅱ	1				1			卒業時までに修得すること
	制御システム工学Ⅰ	1							

情報系科目 平成29年度以降入学生に係る教育課程

区分	授業科目	単位数	学年別配当単位数					学修単位	備考
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	国際創造工学基礎	2	2					4系共通科目	
	情報リテラシー	1	1					4系共通科目	
	応用物理	1		2					
	プログラミング	2	2						
	コンピュータネットワーク基礎	2	2						
	情報管理	2	2						
	論理回路	1	2						
	情報工学実験	1	2						
	プログラミングII	2	2						
	論理回路II	2	2						
選択科目	情報ネットワークI	2		2					
	情報ネットワークII	2		2					
	情報ネットワークIII	2		2					
	情報ネットワークIV	4		4					
	情報工学実験III	1		1					
	卒業研究	9					9		
	開設単位数計	46	3	10	15	5	13		
	修得単位数計	46	3	10	15	5	13	4年で必ず修得すること	
	応用数学I	2		2				4年で必ず修得すること	
	応用数学II	2		2				4年で必ず修得すること	
情報工学英語演習I	1		1						
情報工学英語演習II	2		2						
情報ネットワークI	2		2						
情報ネットワークII	2		2						
情報ネットワークIII	2		2						
データ構造とアルゴリズムI	1		1				4年で必ず修得すること		
データ構造とアルゴリズムII	2		2				4年で必ず修得すること		
プログラミング応用I	2		2						
プログラミング応用II	2		2						
論理回路	2		2						
言語処理	2		2						
オペレーティングシステム	2		2				4年で必ず修得すること		
データベース	2		2				4年で必ず修得すること		
統計学	2		2						
デジタル信号処理	2		2						
数値解析	2		2						
知識情報処理	2		2						
コンピュータグラフィックス	2		2						
コンピュータグラフィックスII	2		2						
情報セキュリティ	2		2						
記号処理プログラミング	2		2						
特別他大学等での履修科目				4以内			単位の認定は別に定める		
学修知識・技能審査	37								
開設単位数計	83	3	10	15	23	14			
修得可能単位数計	83	3	10	15	23	14			
開設単位数合計	83	3	10	15	23	14			
開設単位数合計	一般科目	84	29	20	15	16	6	75単位以上修得 (特別履修を含めて170単位以上修得) 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得	
	副専攻科目	12					8	82単位以上修得	
	共通科目	2					2		
	主専攻科目	83	3	10	15	23	27		
	合計	181	32	32	32	50	39	167単位以上修得 (特別履修を含めて170単位以上修得) 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得	

※ 4年から5年への進級条件として、4年次の主専攻選択科目から18単位以上修得することとする。

※ 特別学修は単位数に含めない。

修得可能単位数欄の上段は、その学年において修得可能な単位数、下段は、その枠内で修得可能な単位数を示す。

学修単位Iは、1単位=授業30時間+自学自習15時間

学修単位IIは、1単位=授業15時間+自学自習30時間

化学・生物・環境系科目 平成29年度以降入学生に係る教育課程

区分	授業科目	単位数	学年別配当単位数					学修単位	備考
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	国際創造工学基礎	2	2					4系共通科目	
	情報リテラシー	1	1					4系共通科目	
	応用物理	1		2					
	分析化学	1	2						
	無機化学	1	3	1	2				
	有機化学	1	3	1	2				
	物理化学	1	2		2				
	機器分析	2	2		2				
	情報処理	1	1		1				
	化学ゼミナール	2	2		2				
選択科目	環境化学基礎	1			1				
	生物化学実験I	1		3					
	物質工学実験II	1		3					
	物質工学実験III	2		2					
	物質工学実験IV	2		2					
	課題研究	1		1					
	卒業研究	9					9		
	開設単位数計	49	3	10	15	6	15		
	修得単位数計	47	3	10	15	6	13		
	応用数学I	2		2				4年で必ず修得すること	
応用数学II	2		2				4年で必ず修得すること		
物質工学英語演習I	1		1						
無機化学II	2		2						
有機化学II	2		2						
物理化学II	2		2						
分析化学I	2		2						
分析化学II	1		1						
物理化学III	2		2						
物理化学II	2		2						
応用微生物学	2		2						
応用数学II	1		1						
応用化学演習I	1		1						
応用化学演習II	1		1						
物質工学実用数学	1		1						
有機合成化学	1		1						
環境化学	1		1						
放射化学	1		1						
安全工学	1		1						
反応理論化学	2		2						
無機材料工学	2		2						
高分子工学	2		2						
環境保全工学	2		2						
生物資源工学	2		2						
特別他大学等での履修科目				4以内			単位の認定は別に定める		
学修知識・技能審査	39								
開設単位数計	88								
修得可能単位数計	89								
開設単位数合計	84	29	20	15	16	6	75単位以上修得 (特別履修を含めて170単位以上修得) 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得		
開設単位数合計	一般科目	84	29	20	15	16	6	75単位以上修得 (特別履修を含めて170単位以上修得) 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得	
	副専攻科目	12					8	82単位以上修得	
	共通科目	2					2		
	主専攻科目	86	3	10	15	22	36		
	合計	184	32	32	32	44	48	167単位以上修得 (特別履修を含めて170単位以上修得) 4年で30単位以上修得 4・5年で71単位以上修得	

※ 特別学修は単位数に含めない。

修得可能単位数欄の上段は、その学年において修得可能な単位数、下段は、その枠内で修得可能な単位数を示す。

学修単位Iは、1単位=授業30時間+自学自習15時間

学修単位IIは、1単位=授業15時間+自学自習30時間

振込受付証明書を以下の枠内に貼ってください



外部検定による学力検査の一部免除申請書

令和 年 月 日

茨城工業高等専門学校長 殿

志望学科 _____ 国際創造工学科 _____

志望主専攻 _____ 系 _____

氏 名 _____

外部検定において、下記のとおり評価を取得しておりますので、第4学年編入学者選抜試験科目のうち、英語の学力試験の免除を申請します。

記

外部検定の 種 類	1. 実用技能英語検定 2. GTEC 4技能 (検定版・アセスメント版) 3. GTEC 3技能 (アセスメント版) (いずれかを○で囲んでください。)
認 定 日	年 月 日
取 得 評 価 (級・スコア)	

* 学力選抜試験日の前々年度の4月1日以降に取得した評価を記入してください。

* 評価を証明する書類 (1. 「合格証明書」 2. 「オフィシャルスコア証明書」 又は 「スコアレポート」

3. 「スコアレポート」) の原本及び写しを一部添付してください。

原本は確認後返却します。

宛 名 シ ー ル

見本

冊子の添付用紙を
ご使用ください。

送 付 用 ・書類等を送付する場合はこのシールをご利用ください。

〒312-8508

茨城県ひたちなか市中根866

茨城工業高等専門学校 学生課入試係 行

返 信 用

- ・合格，その他の通知に使用しますので入学志願者の郵便番号，住所，氏名を正確に記入してください。
- ・アパート・団地等の場合は，アパート名・棟番号等も記入してください。
- ・※印欄は記入しないでください。

返信用宛名シールだけ切り取らずにこの
A4サイズ台紙のまま提出してください

返信用宛名シールの「様」は
消さないでください

〒

—

※

(住所)

(氏名)

様

〒

—

※

(住所)

(氏名)

様

入学検定料の納入について

- 令和6年度入学志願者の入学検定料は16,500円です。
- 下記の振込用紙により、銀行・信用金庫その他の金融機関の窓口で振込みの手続きをおとりください。
(ATMはご利用になれません。また、ゆうちょ銀行では口座からの振込みはできません。)
- 検定料の振込期間は厳守してください。
- 「振込受付証明書」を「編入学願書」の裏面の所定の位置に貼付してください。

(編入学)振込受付期間
令和5年6月29日(木)～令和5年8月2日(水)

見本

冊子の添付用紙を
ご使用ください。

振込受付証明書

科目	入学検定料		
令和年月日	手数料	千	円
金額	1	6	500
先方銀行	種目	口座番号	
常陽銀行 ひたちなか支店	普通	1989055	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 (フリガナ)		
[志願者氏名] ご依頼人			
志望主専攻名	系		

(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

(取扱店) → 依頼人 → 入学願書貼付

振込金受取書

科目	入学検定料		
令和年月日	手数料	千	円
金額	1	6	500
先方銀行	種目	口座番号	
常陽銀行 ひたちなか支店	普通	1989055	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人			

上記のとおり振込金として受取りました。

(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

(取扱店) → 依頼人 (本人保管)

振込依頼書

振込手数料ご依頼人負担

科目	入学検定料					
ご依頼日	令和年月日	電信扱	手数料	千	円	
受取人	先方銀行	科	目	口座番号	金額	
	常陽銀行 ひたちなか支店 (フリガナ)	普通	1989055	1	6	500
	(なまえ)	ドク) コクリツコウトウセモンガンコウキョウホンプ				
	(所在地)	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部				
	(フリガナ)	東京都八王子市東浅川町701-2 (電話) 029-271-2816 <small>[茨城高等専門学校事務系]</small>				
ご依頼人	[志願者氏名]					
	(おとなまえ)					
	(おところ)	〒				
	(電話)					

(収納済印または振替印)

(取扱店保管) 令和5年8月2日(水)

※各票の太線の中に記入ください。

入学検定料返還要件

①入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

②入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記の入学検定料返還要件のいずれかに該当する場合は、下記の「入学検定料返還請求書」に記入後、出願しようとした選抜試験の出願期間終了後に、総務課財務係へ速やかに送付してください。

送付先：〒312-8508 ひたちなか市中根 866 茨城工業高等専門学校 総務課財務係 (TEL:029-271-2816)

なお、返還に係る振込手数料は請求者負担となります。

----- 【入学検定料返還請求書】 -----

1. 氏 名（振込受付証明書の志願者氏名とフリガナ）

印

2. 現 住 所

〒

3. 連絡先電話番号（昼間連絡可能な連絡先）

4. 返還請求理由

5. 入学検定料返還先銀行口座

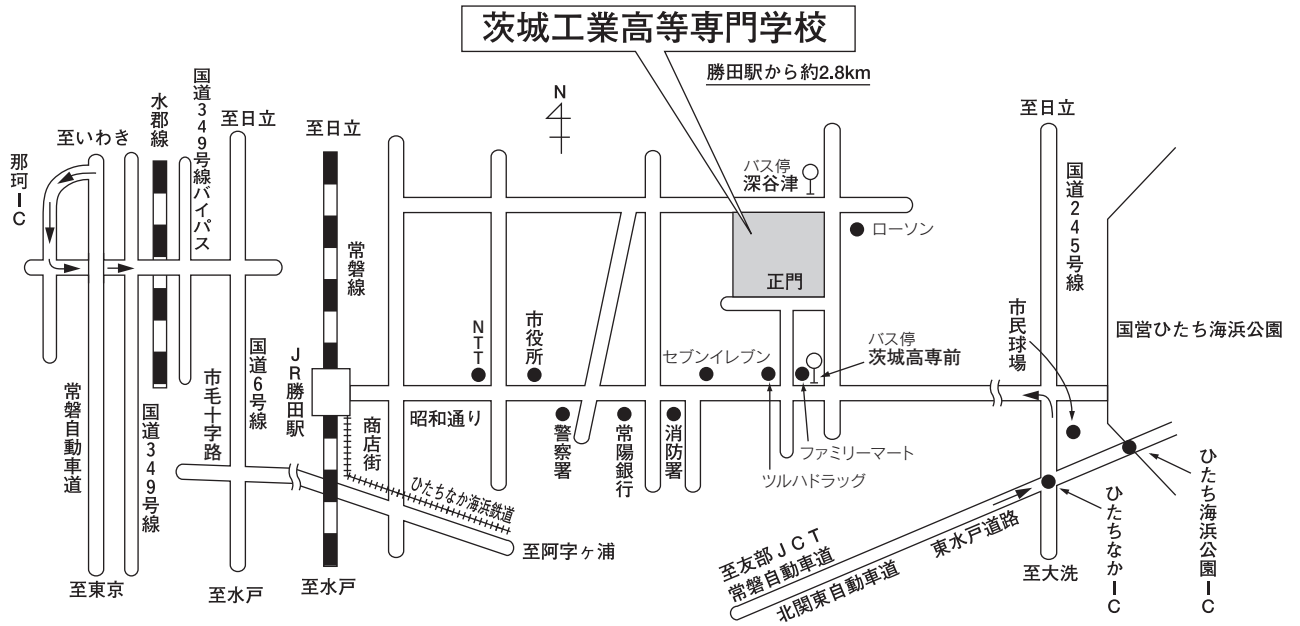
金融機関 の店舗名	銀行・金庫 組合								店
	銀行コード					支店コード			
預金種別	1. 普通		2. 当座		3. ()				
口座番号									
ゆうちょ銀行 の場合	口座記号								
	番 号								
フリガナ									
口座名義									

6. 振込受付証明書貼付欄

※振込受付証明書を右90°回転させて貼付してください

【振込受付証明書貼付位置】

検査場案内



交通案内

- * J R 常磐線勝田駅からタクシーで約5分
- * J R 常磐線勝田駅から茨城交通バス市役所経由で約10分 (②番バス停)
 - 東中根団地行き、または中央研修所行き、あるいは海浜公園・南口行きで茨城高専前下車
 - 足崎団地行きで深谷津下車
- * 勝田駅から徒歩 (昭南通り東進) で約40分 (2.8km)
- * 常磐自動車道那珂インターチェンジから車で約30分
- * 東水戸道路ひたちなかインターチェンジから車で約10分

